



- ②～③ …… 歳入・歳出の構成
- ④～⑤ …… 町長施政方針・主要な事業
- ⑥～⑦ …… 予算審査
- ⑧～⑨ …… 定例会・臨時会議案採決結果
- ⑩～⑯ …… 一般質問(11議員から16問)

- ⑰ …… 議会の動き
- ⑱・⑲ …… 小屋浦小学校議会傍聴記
- ⑳ …… **追跡** ありゃあ、どおなったん?
- ㉑ …… まちの声
- ㉒ …… 議会クイズ

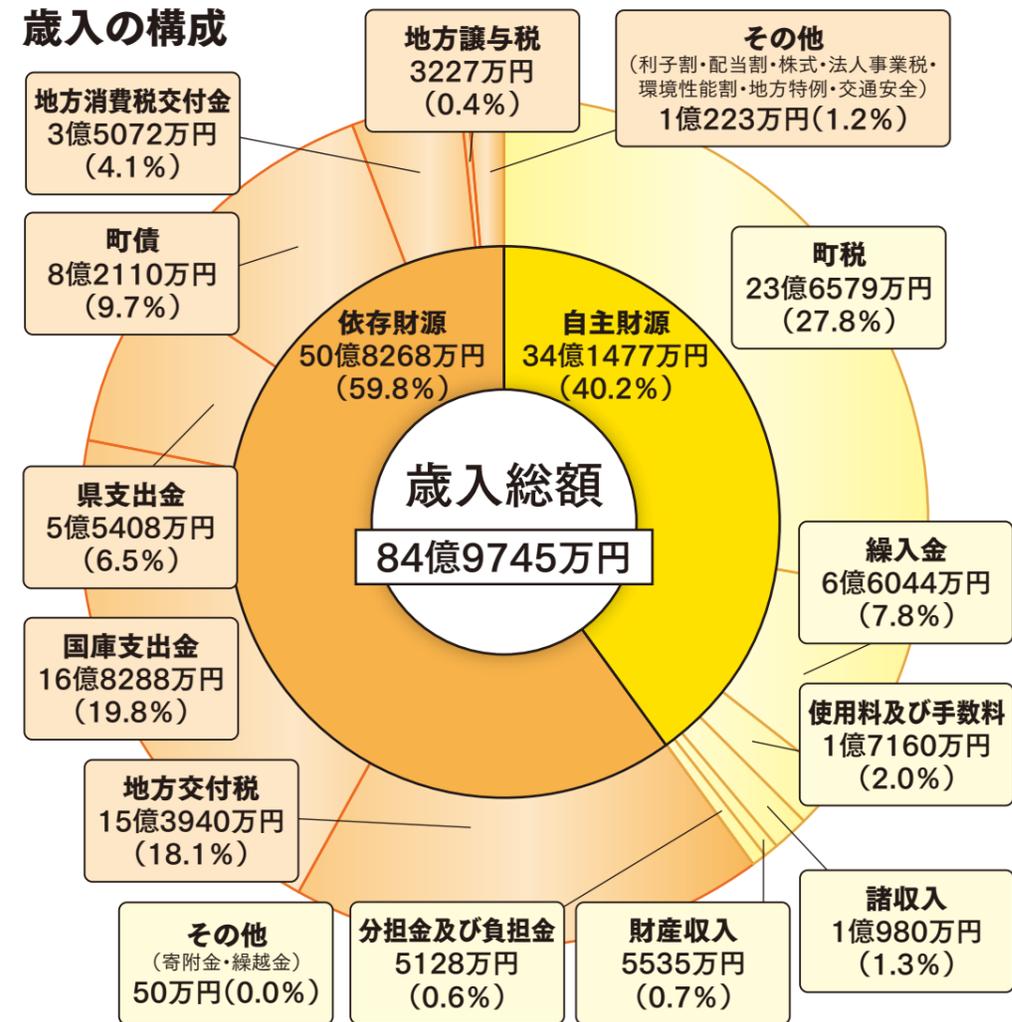
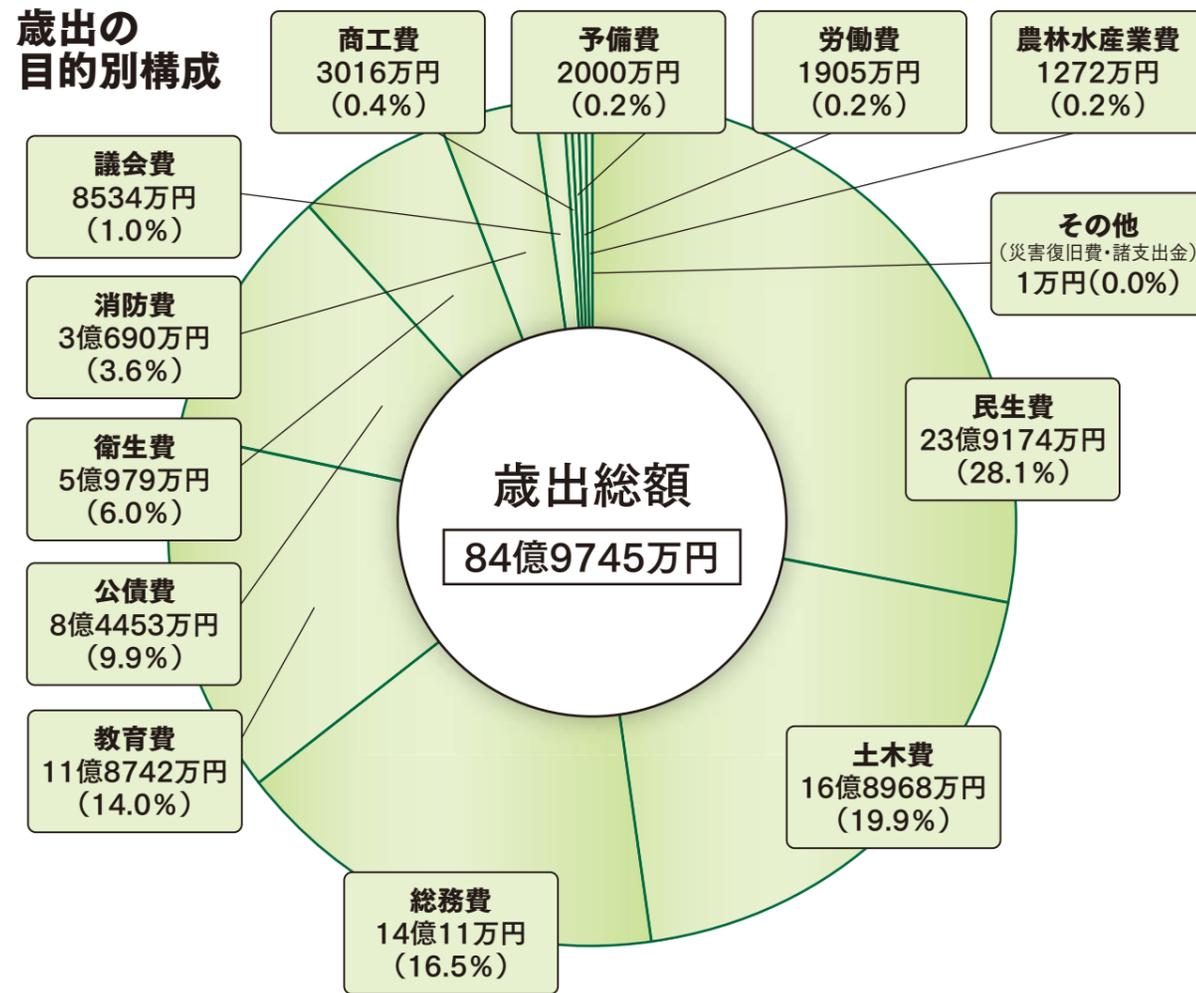
坂町公式ライン
QRコード



令和7年度 一般会計予算

積極的なまちづくり

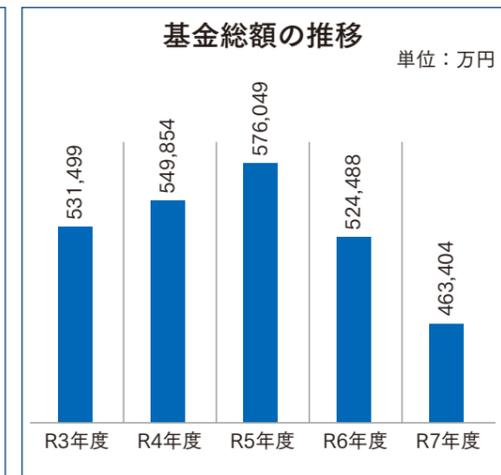
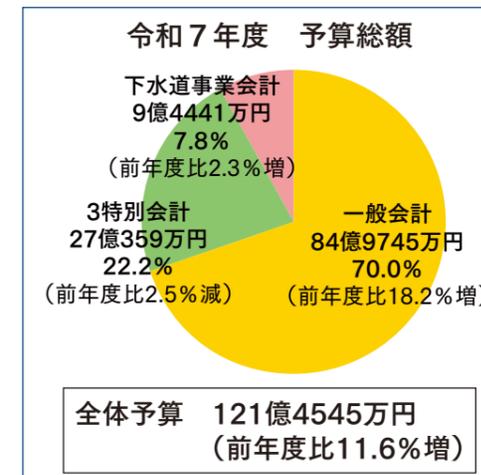
5年連続で過去最大を更新



※万円未満を四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

※万円未満を四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

区分	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較	伸率	
一般会計	84億9745万円	71億8837万円	13億908万円	18.2%	
特別会計	国民健康保険事業	11億2526万円	12億5871万円	△1億3345万円	△10.6%
	介護保険事業	13億4342万円	12億8715万円	5627万円	4.4%
	後期高齢者医療	2億3491万円	2億2668万円	823万円	3.6%
下水道事業会計	9億4441万円	9億2321万円	2121万円	2.3%	
合計	121億4545万円	108億8411万円	12億6134万円	11.6%	



3月定例会は、3月3日から7日まで開会され、提出された令和6年度一般会計・3特別会計の各補正予算ほか条例改正など24案件を慎重審議し、いずれも原案どおり可決し、町長施政方針、教育行政方針が示された。また、令和7年度一般会計・3特別会計及び下水道事業会計の各予算は、5日・6日の予算審査特別委員会で集中審議しすべての予算を可決した。一一般質問では11議員から16問行い、行政側の考えを問うた。

教育施設・道路整備拡充

令和7年度予算は過去最大規模に

復興から安全・安心の新しいまちづくりへ

公営住宅等整備事業(小屋浦再開発事業)



1億7900万円

小屋浦地区の再生、定住促進を目的として、町有住宅の建替を行なうための設計業務など

急傾斜地崩壊対策事業(町営事業)



5620万円

急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、重要度、危険度の高い箇所から順次整備する

都市防災総合推進事業



4億2700万円

町道の新設及び拡幅改良により防災機能を図るため、町内幹線道路の整備を行う(植田水尻側道線・浜田中洲線など)

带状疱疹ワクチン接種事業



707万円

带状疱疹の発症及び重症化の予防を図るとともに経済的負担の軽減を図る(65歳から5歳毎)

児童用机・椅子整備事業



1850万円

学習用端末に対応した机などを整備するため、各小学校の机及び椅子を整備する

横浜排水区浸水対策事業



1000万円

近年の集中豪雨による浸水被害に対応するため、水路の改良を行う

一人一台端末更新事業



2億2717万円

児童生徒に一人一台購入した学習用端末を耐用年数5年が経過したため更新する

町道坂東環状線道路改良事業



3億5000万円

緊急車両の通行、通学路からの通勤車両のう回路等、良好な住環境を支える生活道路の整備

小屋浦地区活性化事業



800万円

商業、住宅の事業者誘致を推進し、本町の魅力を紹介する動画の作成

町長施政方針の主な事業

- ① 臨機応変な物価高騰対策などの実施
- ② 災害に強いまち・人づくり
- ③ 小屋浦地区再開発事業の推進
- ④ 県道坂小屋浦線、坂東環状線の推進
- ⑤ 町内循環バス事業の推進
- ⑥ 国道31号の4車線化と歩道整備の促進
- ⑦ 横浜排水区浸水対策事業の推進
- ⑧ 保健・福祉総合相談室の活用
- ⑨ 保健センター機能を備えた新たな施設の検討
- ⑩ 母子保健DXの推進
- ⑪ 保育園、こども園及び小中学校の給食費の支援
- ⑫ 安全で充実した教育環境の整備
- ⑬ 妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援の充実
- ⑭ 生涯学習社会の推進、生涯スポーツ社会の振興
- ⑮ 平和教育の推進
- ⑯ SSR(スペシャルサポートルーム)の整備による不登校児童生徒への支援の充実
- ⑰ バイサイドビーチ坂の賑わい創出
- ⑱ 窓口改革の推進による住民負担の軽減と利便性の向上
- ⑲ 町民ひろば及び社会教育施設長寿命化計画の推進

※町長施政方針から部分抜粋
(詳しくは広報さか4月号をご覧ください。)

新しいまちづくりに向けて 過去最大予算をチェック

予算審査特別委員会 審議のあらまし

予算審査特別委員会は3月5日と6日の2日間、開会した。令和7年度一般会計予算と3特別会計予算・下水道事業会計について、活発な質疑応答を行い、原案どおり可決した。その後、審査意見書を提出した。

▼小屋浦地区活性化

議員 商業、住宅などの機能誘致業務やPR動画制作、デジタルパンフレット制作業務など、いつ頃の完成事業なのか。

企画財政課係長

PR動画、デジタルパンフレットについては仕様書を作成し、令和7年度末に完成予定である。機能誘致業務については現在作成中の基本構想に基づき、必要な事業を柔軟に業務委託していく。

▼ほほえみタウン坂

議員 ほほえみタウン坂の通所について町外の方を受け入れては。

民生課係長

現在、町内の方を優先している。年度途中で利用している施設を変更することが難しいと聞いており、新年度の利用状況によって協議を行う。

▼通学路緊急対策推進

議員 令和7年度の工事箇所は。

建設課長

中村地区上流の砂防河川、明神川と坂東環状線が交わる付近である。

▼都市防災総合推進

議員 横浜一部17号線、横浜三部2・5・6号線の今後の見直しは。

基盤整備担当課長

境界立会・用地測量・取得など地元の協力が必要である。見通しが立っているとところから工事を行う。

▼母子手帳アプリ

議員 母子手帳アプリは来年度開始だが、既に母子手帳が配られている方への対応・周知は。

保険健康課係長

既に手帳をお持ちの方には、乳児健診などの際に、アプリの資料と説明書を渡している。

▼がん検診

議員 本町のがん検診の受診率は。65歳以上の受診料を無料にすることで、受診率が上がると思うが、どのくらいの受診率を想定しているのか。

保険健康課係長

本町の受診率は胃がん9.7%、肺がん7.4%、大腸がん9.9%、子宮頸がん15%、乳がんは19.1%である。胃がん、肺がん、大腸がん検診については県の受診率まで伸ばすよう予算計上している。子宮頸がん、乳がんについては、県受診率に近いので、継続して伸ばしていく。



安全な通学路確保のために

審議のあらまし

▼重層的支援体制整備

議員 保健・福祉総合相談室に専念してもらうために、兼任でなく専任職員が必要では。

保健・福祉総合相談室長補佐

現在は、4名の専任体制である。

▼地域おこし協力隊

議員 隊員の方の活動状況は。

企画財政課係長

3年目を迎える隊員は、ベイサイドビーチ坂と水尻の賑わい創出に貢献しており、サップ体験、テントサウナをしている。

▼都市公園等管理運営

議員 公園の整備(トイレ9カ所、ベンチ60基)において対象となる公園および工期は。

都市計画課係長

設置から15年以上経過および劣化の激しい箇所が対象となり工期は令和7年度末までを予定している。

対象公園(正原池、岡、お宮杜、中央、西側、植田丘、横洲、鯛尾、宮崎)

▼坂中学校グラウンド整備

議員 現在の問題箇所や具体的な工期などは。

学校教育課長

大雨などによる砂の流出を防ぐため、主に野球、サッカー、テニスコートを整備を予定し、工期は体育祭終了時から令和7年度末までとしている。



使いやすくなる坂中グラウンド

予算審査特別委員会意見書

平成30年7月豪雨災害からの復旧工事が完了し、本格的な復興へ向けて進む中、物価高騰が家計や経営を直撃し、厳しい経済状況が続いている。こうした中、令和7年度の一般会計当初予算には、過去最大の85億円が計上され、復興へ向けて全力で取り組む姿勢が感じられる予算となっている。中でも、小屋浦地区再開発事業は、本町の賑わい創出に不可欠な事業であり、この事業の成功に向けてまい進していただきたい。また、大規模な予算を投じた坂東環状線や植田水尻側道線など、インフラの強靱化は高く評価でき、引き続き、安全・安心な生活環境の整備に取り組んでいただきたい。ソフト事業においても、給食費支援事業や子ども医療費助成制度の拡充など、子育て世帯への経済的支援は高く評価でき、また、平和教育の充実や部活動への手厚い支援など、引き続き、本町の将来を担う子どもたちの健やかな成長を支えていただきたい。

さらに、障害者福祉や高齢者福祉においても、町民に寄り添ったきめ細やかな支援施策を講じられており、引き続き、誰もが健康で快適に暮らせる環境の整備に取り組んでいただきたい。各特別会計と企業会計については、それぞれの目的に沿った収支の均衡が図られた予算となっており、引き続き、各施策の実施に傾注いただきたい。終わりに、良好な財政状況の中で道路整備や防災対策などの大規模なハード事業を推進し、また、人口減少や高齢化といった困難な課題に対しても、その解決に向け積極的に取り組まれていることを評価し、今後も本町の更なる発展に向けた取り組みを期待するとともに、健全な財政運営の推進に努めていただくことを要望する。

各議案に対する採決状況（各議員の賛否一覧）★川本議長は採決に加わらない

Table with columns for proposal number, main content, and votes from various council members (折中智, 岡村繁範, etc.).

注：上記表記の数値は、四捨五入したものを記入した。

議案第20号 留守家庭児童会 賛成討論
議案第22号 国民健康保険 賛成討論
議案第23号 介護保険事業 賛成討論
議案第24号 反対討論
議案第25号 反対討論

令和6年度 一般会計補正

3億6173万円を減額補正

主な収入

- 町民税 5200万円
固定資産税 2100万円
地方交付税 9180万円
国庫負担金・補助金 1119万円
財産売却収入 2144万円
基金繰入金 3億7170万円
町債 △1億8170万円

主な使い道

- 減債基金積立金 2823万円
障害児入所給付費等 2890万円
子ども園・保育園給付費負担金 △4461万円
道路台帳電子化業務 4200万円
海岸保全施設県営工事負担金 △7982万円
公園遊具等長寿命化計画策定 △1200万円
坂東防災空地整備 △1750万円
急傾斜地崩壊対策県営工事負担金 △2120万円
坂中学校体育館改修工事・エレベーター工事
スペシャルサポートルーム(SSR) △1億5818万円
令和6年発生災害道路復旧工事 △1322万円

建設課長
現在町道70km余りの台帳管理は紙ベースで行っている。今回電子化で整備し公開することによって利便性の向上を図る。

議員
道路台帳電子化業務 4200万円は。

道路台帳電子化

学校教育課長
他の生徒からの視線が気になる生徒が、直接屋外から入れるように1階の金工室を改修する。工期は3カ月で4〜6月整備予定である。

議員
坂中学校のスペシャルサポートルーム(SSR)はどこに設置し、工期は。

スペシャルサポートルーム(SSR)

補正予算



町道植田水尻側道線入口付近

工事請負契約締結
(仮称)町道植田水尻側道線令和7年度工事契約
令和4年度から最終年度となる令和7年度工事契約2億6890万円を西日本高速道路(株)中国支社と締結する。

追加し、4725万8200円で(有)かわおか建興と契約する。
4015万円を追加し、2億2550万円を広島ガス・テクノサービス(株)と契約する。

第1回臨時会2月28日
補正予算の専決処分は
物価高騰対応重点 支援給付金
住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円支給され、さらに18歳以下の子どもには1人当たり2万円を支給する。
予算は4850万円。

町長選挙公報の発行
1月26日執行の坂町長選挙の公報発行に関する条例を制定する。

財産の取得

小屋浦一丁目の旧シエール石油用地9549・23㎡を1億8000万円円で、出光興産(株)から取得する。
財源は坂町土地開発基金で対応する。

一般質問

11人から
16問
行政に問う

障害者支援

ミライロID導入による障害者支援の充実を

町 システム改修で自動連携を可能にする



光岡 美里 議員

課が窓口となって個別に職員が登録を行い対応している。
この登録が完了したらアプリに登録が可能となる状況にある。
システムも改修予定である。

議員 システム改修のスケジュールは。

民生課長

議員 ミライロIDのメリットは。

町長

ミライロIDとは身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳をミライロIDアプリに登録することで、手帳の情報をスマートフォンで提示できるものであるが、本町での導入は。

障害者割引の適用を容易に受けることができるようになり、利便性の向上が図られる。
また、本人確認の際も障害者手帳の提示に伴う心理的負担の軽減・プライバシー保護の強化、手帳の破損や紛失の軽減など考えられる。



手続き簡単！ミライロID

広報紙・公式ラインでの周知や、障害福祉サービスの各事業所にも文書などで周知を図る。

無業者支援

若年無業者の支援施策を

町 的確に対応し、必要な支援につなぐ



末吉 克巳 議員

若年無業者を対象とした就職支援などの取り組みをしているのか。

町長

就職斡旋や求人仲介などに関する事務は行ってないが、意欲のある方で、何らかの障害や、精神疾患などにより支援が必要とされる場合には、これまでの経緯をお聞きした上で、公共職業安定所と連携し、就労支援を行っている。
人間関係などの阻害要因があり、働くことに悩みを抱えている方については、広島地域若者サポートステーションにつ

なき、伴走支援を行っている。

議員 就職支援を、広報紙や公式ラインで周知している。

民生課長

情報提供ということなどで、ホームページ掲載などを検討する。

議員 気軽に相談できる窓口を検討している。

町長

保健・福祉総合相談室にて、若年無業者の就労に関する相談も機能を果たすものと考えている。



職業安定所 (ハローワーク)

聴覚障害者支援

聴覚障害者への支援の充実を

町 誰もが安心して地域で暮らすことのできる社会づくりに努める



中川 ゆかり 議員

長期総合計画の「誰もが健康で暮らせるまちづくり」では、専門人材の確保が挙げられているが、対応などは。

議員

手話で対応できる職員は何名で、各課での対応は可能なのか。

民生課長

庁舎内に手話ができる職員が7名おり、必要に応じて手話ができる職員を同行させるなどして対応する。

民生課長

広島県ろうあ連盟に委託し隔年で、入門編18回・基礎編22回・定員15名の講座を開催しており、受講料は無料となっている。

議員

近年、他自治体では、手話言語条例も制定されているが、当町の対応は。

町長

町の現状や近隣自治体の状況を勘案し、検討していく。

町長

このような保険が必要となるのは、認知症を患っている高齢者だけでなく、子どもから高齢者までが対象となる。
それぞれの家庭の実状にあった個人賠償責任保険にご加入いただくものであるため、現在のご本町での実施は考えていない。

認知症対策

認知症の諸施策を

町 認知症の人が尊厳を守りながら希望をもって暮らせるよう推進していく



柚木 喬 議員

議員 補聴器を買う際の助成制度を創設しては。

町長

補聴器を使うことでコミュニケーションが円滑になり、社会とのつながりを保つことができるため、認知機能の維持にも役立つ可能性があると考えている。

議員

認知症簡易テストはできないか。

町長

認知症ケアパスの目的である認知症の理解や早期発見・早期治療に繋がると考えているので、簡易テストの実施に向けた検討を行う。

近隣の事例を研究しながら、助成制度の導入について検討したい。



耳マークを確認してね

議員 手話奉仕員養成講座の内容は。

庁舎窓口においては、カウンターに聴覚障害者のためのシンボルマークである「耳マーク」を提示しており、コミュニケーション方法を確認の上で、職員が手話や筆談で丁寧な対応を行っている。



みんな元気！ふれあいサロン

緊急車両対策

狭路における緊急車両の運用は

町 引き続き、迅速に搬送できる体制づくりに努める



折中 智 議員

議員 より迅速に救急・消防活動を行えるよう、搬送ルートなど事前に消防局と申合せをしては。

議員 火災は未然に防ぐことが重要と考えるため、広報紙などを活用し、火災予防の啓発を行っては。

全長の短いストレッチャーと軽救急車導入を広島市消防局へ働きかけは。

環境防災課長 消防署は日常的に町内を巡回し、道路状況を把握しており、申合せの必要性はないと考える。

環境防災課長 現在、防災行政無線や広報紙などを活用し、火災予防の啓発を行っている。

町長 広島市消防局によると、ストレッチャーは椅子型に変形できることやポーターマットなどで対応できるよう対策しているため、導入は考えていないと聞いている。



ストレッチャーが椅子型に 出典：雑誌「近代消防」

町長 防犯カメラの設置は、犯罪抑止力の向上が期待できる一方で、個人情報及びプライバシーを侵害する恐れがある。画像記録の漏洩などを防止する必要から積極的に家庭用防犯カメラの設置を促進していくには慎重な判断が必要である。

個人での防犯カメラの設置に対し、補助制度を設けては。



安竹 正 議員

議員 町内45カ所の防犯カメラ設置場所の見直しを。

議員 今後、防犯カメラの増設は。

町長 警察と協議を行い効果のある場所に設置しており、再度、設置場所が適切か協議していく。

環境防災課長 増やしていく計画はないが、地域の要望があれば、警察と協議のうえ設置を検討していく。



地域を見守る防犯カメラ

防犯カメラ

防犯カメラの設置見直しを

町 地域の要望に応じ警察と協議のうえ検討する

熱中症対策

猛暑による熱中症対策を

町 運動会、体育祭の時期を試験的に遅らせる



岡村 繁範 議員

員会を通じて学校を指導している。

議員 運動会、体育祭において具体的な対策は。

議員 環境省の熱中症対策推進を目的とした補助制度を利用しては。

環境防災課長 環境省の補助制度を調査、情報収集を行っている。

学校教育において熱中症のリスクが高い行事について、現状および今後の施策は。

学校教育課長 中学校の体育祭はこれまでの9月初旬から10月初旬へ、小学校の運動会はこれまでの10月初旬から11月中旬へ変更するなど時期を遅らせる措置を予定している。

町長 夏季の学校生活・学習・行事については、空調設備の適切な活用などの対策を講じているが、とりわけ運動会・体育祭においては、練習日を含め、熱中症リスクが高いと認識している。今年度の実施状況と来年度の気温上昇を踏まえ、児童生徒が安全で健康的な取り組みができるよう、暑さが和らぐ時期の開催となるよう教育委



暑さが和らぐ時期の開催を

公営住宅

公営住宅の家賃の減免を

町 家賃減額制度の周知を図る



向田 清一 議員

より家賃を決定し固定されていた。

所得が激減された方などの要望により居住の安定を図るため、平成26年度から家賃の決定及び減額の運用基準を改正し、毎年収入調査を実施し、世帯の収入に応じた家賃を決定している。

議員 物価高騰が続く中で家賃支払いが困難な方に対する減免は不十分であるが周知徹底しては。

町長 従前の基準が生活扶助額に教育扶助額を加算した額であったが、従前の生活扶助基準額に30%を加えた額に見直し、対象範囲を広げた。

町長 現在、町営住宅142世帯の入居者に対し減免1世帯、また特定公共賃貸住宅（平成ヶ浜町営）1世帯を減免措置している。

議員 平成ヶ浜町営住宅は平成26年度からの家賃の見直しをしているが状況は。

町長 以前は入居時の所得に



平成ヶ浜町営住宅

知。 減免率も10%から30%を10%70%に上げて手厚いものになっていく。広報はホームページ、公式ライン等で告知。

町長公約

9期目当選で今後の町政運営は

町人口減少に歯止め、賑わい創出で復興を



池脇 雅彦 議員

44年ぶりの町長選挙があり、9期目の当選となった。その選挙公約で8つの施策があったが、今後の町政運営は。

用地や公営住宅などの誘致・整備に着手したところである。

議員 県道坂小屋浦線の整備、慢性的な交通渋滞の国道31号の4車線化と歩道整備は。

町長

県道坂小屋浦線は、現在JR呉線や国道31号を越える高架橋の下部工事を行っている。令和7年度からは上部工へ着手し、総頭川渡河部の工事は、令和8年度完成予定。国道31号の4車線化は、高尾橋から北新地運動公園までの埋め立て本申請や用地買収を行っている。



4車線化が待たれる国道31号

町長 地方創生のため、首都圏だけでなく、県内外からの移住者や町民の起業や事業継承、空き家活用での企業に、事業資金などの補助をしては。



奥村 富士雄 議員

議員 地域経済の活性化、空き家活用などを町ぐるみで取り組むため、行政、商工会、大学、金融機関、企業などで協議会を立ち上げ、取り組んで

町長

令和7年度に開催する坂町総合戦略会議がまさにその協議会と一致するものになる。

議員

町内無店舗地が広がっており、移動販売車が巡回しているが、地区集会所を活用し、商品などの販売を定期的に行えば便利になるのでは。

町長

なかなか難しい問題だが、実証的にモデル事業としてスタートすることはできると考える。



キッズ起業家育成塾

起業支援

地方創生に移住者等の起業支援を

町産官学金労言で連携し、創生の施策を検討の予定

町長

令和7年度に第3期坂町地方創生総合戦略を策定するための総合戦略会議で、広島安芸商工会をはじめ、本町に關係する「産官学金労言」の方々に、本町の創生に資する施策を検討する予定である。その中で補助金などは検討していく。

小屋浦地区再開発事業

小屋浦地区の再開発事業による賑わいと人口増を

町可能な限り早期の整備完了に努める



縫部 逸都 議員
安竹 正 議員

縫部議員 町長施政方針では、小屋浦一丁目の再開発事業を行うとある。当町の人口増加に大きな影響があると考えるが、事業を進めるにあたり、財源や道路の確保、駅周辺の整備を含め、長期的になると思うが、具体的な構想は。

安竹議員

小屋浦一丁目の民有地を取得することで、再開発事業計画が大きく変わったのではないかと、今後の活用方法は。

町長

これまでの進捗状況は、小屋浦地区活性化基本構想策定及び民間活力導入可能性調査業務を発注、その後、旧シエル石油用地を取得することが可能となったことで、二つの土地を一体化した構想にする作業を行っている。

議員

再開発事業後の小屋浦地区の人口は何人を目指すのか。

町長

豪雨災害以前の人口1800人以上を見込んでいる。

また未確定ではあるが、誘致、整備する施設は住居施設と商業施設になる。

整備にあたり、町有住宅の方々の移転に伴う生活再建を最優先に施設配置を検討している。

周辺整備は、商業施設の整備にあたり、国道31号の渋滞緩和に向け、国と協議、その他、駅利用者増加に対する対応や国道を横断する歩行者への対応、また、財源としては公営住宅に対する国の補助金と町債を考えている。



小屋浦地区の人口増を

令和7年度予算

令和7年度介護保険事業特別会計予算を問う

町活力ある生活を送っていただくための施策を実施

柚木 喬 議員

町長

令和7年度予算は、第9期介護保険事業計画に基づき予算編成しており、新たな施設の導入にかかる経費は計上していない。

また、認知症の具体的な施策としては、認知症を正しく知ってもらう活動や予防に取り組む。歳入不足対策については、介護給付費準備基金

からの繰り入れで必要額を補えると考えている。歳出部分を最小経費での工夫については、必要なサービスを安心して利用していただけるよう、必要な経費を確保し、今後の介護給付費抑制に向け、介護予防事業や健康増進事業を通じ、住民の皆様が健康で、生き生きと活力ある生活を送っていただきたい。

令和7年度介護保険事業特別会計予算においては、認知症高齢者5人に1人問題の対策で、施設状況、施策内容は、また、歳入不足対策として、保険料の引き上げや基金の導入、法定外繰り入れが考えられる。

令和7年度介護保険事業特別会計予算においては、認知症高齢者5人に1人問題の対策で、施設状況、施策内容は、また、歳入不足対策として、保険料の引き上げや基金の導入、法定外繰り入れが考えられる。その他施設の増強や施策のために捻出する歳出を最小経費でしのげる工夫は。



いきいき100歳体操で介護予防

議会の動き

全員協議会

- <1月6日>・新年互礼会
 - ・令和6年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の件
- <1月17日>・原油価格・物価高騰に係る社会福祉事業者支援事業の件
 - ・小屋浦一丁目民有地の落札の件
 - ・坂町長の選挙公報の発行に関する条例の制定の件
- <1月31日>・令和7年第2回坂町議会定例会の件
- <2月28日>・令和7年第2回坂町議会定例会の件
 - ・坂町教育委員会委員の任命の同意の件
 - ・人権擁護委員の候補者の推薦の件
 - ・坂町立図書館の休館日の件
 - ・坂中学校平和教育促進事業の件
 - ・坂町留守家庭児童会開設時間の延長及び負担金の改正の件
 - ・令和7年度役場組織の改正（デジタル改革推進室の設置）の件
 - ・職員の給与に関する条例等の一部改正の件、他3件
 - ・令和7年度坂町国民健康保険の税率改正等（案）の件
 - ・（仮称）町道植田水尻線の設置に伴う工事等に関する令和7年度契約の締結の件
 - ・坂東環状線道路改良（その2）工事請負契約の変更の件、他2件
 - ・坂中学校スペシャルサポートルーム整備工事の件



広島県町議会議長会表彰
「町議会議員25年以上」
川本 英輔 議長

総務厚生委員会

- <2月7日>・ほほえみタウン坂の視察
- <2月28日>・申請書作成支援システムの運用開始の件

建設文教委員会

- <2月2日>・ほほえみタウン坂の視察
- <2月28日>・坂中学校体育館屋内床等改修工事完成視察
 - ・ふるさと資料館整備工事の進捗状況
 - ・坂東防災空地整備工事の進捗状況
 - ・急傾斜地崩壊対策事業（西谷A地区）の進捗状況
 - ・（仮称）町道小屋浦四丁目1・2線道路改良工事の進捗状況を各担当課から説明を受けた。



広島県町議会議長会
「特選」
広報コンクール

議会改革推進特別委員会

- <2月21日>・議員報酬の見直しの件
（議員報酬増額について引き続いて協議進行中）

議会運営委員会

- <1月31日>
 - ・令和7年第2回坂町議会定例会の件
- <2月28日>
 - ・令和7年第1回坂町議会臨時会の件
 - ・令和7年第2回坂町議会定例会の件
 - ・再審法の改正を求める意見書の件
 - ・核兵器禁止条約を日本政府が主導的役割を果たす陳情書の件

グローバル人材育成

町 児童生徒と教職員に英語力向上を図る

教育行政方針の中にグローバル人材育成とあるが、具体的にどのような施策を行うのか。

折中 智 議員

教育長
児童生徒の英語力向上のため、教職員の指導力向上を目的とした研修や外国人外国語活動講師など充実したスタッフを配置し、コミュニケーション力を育む活動をしている。

トや写真を結び付けるゲームなど言語や文化について体験的に理解を深めている。

議員
ICTを活用した国際交流などを行う予定はあるのか。

教育長
令和6年度に県教育委員会と連携し、韓国市内の中学生とオンラインで交流を深めた。令和7年度も継続し実施する予定としている。



ICTで海外と授業

議員
グループの交流ではなく生徒同士の対一での交流はできないのか。

教育長
現在はグループ単位の学習を行っており、生徒一対一の交流は回線環境の影響により難しい。

地方創生

町 本町の魅力を活かす好機である

地方創生2.0とは。

町長
地方創生を開始して10年を経過したが、人口減少や東京一極集中の流れを変えるまでには至らなかった。これらの反省を踏まえ、次の10年を見据えて社会を機能させる適応策を講じていくものである。

池脇 雅彦 議員

議員
地方創生2.0は、今後の町政の進め方にも大きな影響を与えるものではないか。

町長
本町の創生、また復興において、小屋浦地区の再開発事業を何としても成し遂げ、その賑わいを町全体に波及させ、人口減少に歯止めをかける。

議員
地方創生2.0の進め方については、本町の魅力を活かす好機であると捉えている。その他、「令和7年度教育行政方針」についても質問しました。



坂中学校との交流事業を行う沖縄県恩納村立うんな中学校

議員
沖縄県自治体との交流事業とは。

教育長
令和7年度から坂中学校の修学旅行先を沖縄県とし、沖縄県恩納村立うんな中学校と坂中学校との交流学習を計画している。交流を通して平和教育の充実を図る。

「傍聴記」

西谷 伊織

「学んだことを生かして」

灘 翔真

僕は、人生で初めて見た議会で分かったり、思ったりしたことがあります。

まず、議会とは、その町への熱い思いが無かったら成り立たないということが分かりました。なぜなら、坂町の議員は静かな部屋の中で全員真剣な表情をしていて質疑応答をしていたので、僕は議員さん一人一人のこの町への思いがあるから議会が成り立っていると思いました。

また、議会ではこの町の状況や将来どうなるかなどの情報をうそを交えずにそのまま言うので、一番信頼できることが分かりました。メディアの情報では、誤りがあったり、うその情報があったりとするのですが、議会では率直に言うので信頼できると思いました。そのおかげで、この町の状況や将来について初めて知ったこともありました。

僕は、今回の議会傍聴で政治のことに興味を持ち、率直に言う議員を見習おうと思いました。

ぼくは、議会傍聴を体験してみて、思ったことがあります。

1つ目は、小屋浦のことについてです。議会を見てみて、小屋浦のお節がありました。それは、小屋浦のにぎわいと人口が減っていくということです。その解決策として、二地のあま、ている所に施設を建てたり、道を広げたりするとよいと思いました。

2つ目は、議員さんのことについてです。ぼくは、議会を見てみて、とてもおもしろかったです。それは、返事の声や、とても大きいことです。ぼくは、その返事を聞いて、これからの生活に生かしていきたいと思います。もう一つは、質問が出されてからすぐに答えることです。ぼくは、質問されてからすぐに答えることが苦手なので、議員さんを見て、ぼくもまねをしたいと思います。

このように、今日学んだことを生かして、中学校生活をがんばっていきたいと思いました。

「議会傍聴で思ったこと」

政本 朔哉

「私の学び」

丸山 琉璃

ぼくは、議会傍聴で思ったことが二つあります。

一つ目は、町長さんや議員さんの熱い思いです。みんなしっかりと声で話していてとても熱意がこもっていて、坂町をよりよい町にしたい、という感じが感じられたからです。

二つ目は、追加の質問をすぐに作って、発言するところです。質問のしかたもすぐできてぼくにはまねできないと思いました。

ぼくは、議会傍聴を体験して、町長さんや議員さんは、坂町や、坂町の未来のために、一生けん命が人ば、てくたさ、ていこうのことを知れたので、ぼくもその分が人ばりたいと思いました。

これから、議会傍聴で学んだ話や、感じた熱意、議員さんや、町長さんの坂町を発展させていきたくて、という思いを大切にして、未来は向か、て進んでいきたいと思います。

私は、議会傍聴を体験して、心に残った事は、二つあります。

1つ目は、町田町長さんが発表した、選挙公約として、「これからの取り組み施策」という8つの施策の事です。私は、目標に向かって頑張ることが得意ではないので、8つその施策を立てて、発表された町田町長さんを尊敬したいと思いました。

2つ目は、ミライロIDの導入についてです。私は、議会傍聴を体験するまで、ミライロIDの存在を知りません。なので、ミライロIDが、体にも、心にも障害がある人の役に立つアプリということに気づきました。ミライロIDがたくさんの人の役に立つことを願っています。

他に、若年無業者の支援の話など、私が知らないことを学べたことと、坂町の町民のために何をしたいか、何をしたいか悩むのはいいけれど、考えるきっかけになると思います。

傍聴記

小屋浦小学校6年生



「議会傍聴を体験して」

河内 咲樹

「議会傍聴」

宮崎 新

私は、議会傍聴を体験して考えたことが二つあります。

1つ目は、若年無業者についてです。総務省の調査では、全国で何万人もいるらしいです。しかし、若年無業者にもさまざまな原因があります。その一つ一つに反対するのは、とても難しいけれど、職はなれを止めずために大切な人だろうな、と思いました。

2つ目は、私の知らないところでの町の政治が行われていることです。私は社会の授業でしか政治について考えることがありませんでした。しかし、議会では坂町の政治についてたくさん話していただいたので、私も聞いて考えることができました。議員一人一人考え方が違うことに気づきました。

最後に、私は大人になるまで選挙に行こうとは思いません。そのために、中学生になってこの体験を忘れず、話合いを必ず生かしていこうと思います。そして、坂町の未来にできることをしていきたいです。

ぼくは、議会傍聴を体験してみて、思ったことが二つあります。

1つ目は、質問された時にすぐに答えるところです。ぼくたち6年生は、質問されると答えるのがおそくて、長い時は、約1分間の沈黙が続くことがあります。だから、議員のみなさんは、すぐに質問に対して、答えているのがすごいなと思いました。そして、その答えが明確で分かりやすいのも衝撃でした。

2つ目は、町民のことをすごく考えているということです。安心安全で住みたい町、住み続けたい町にしたいと言っていました。町民の気持ちを考えているのと、このような言葉は言えないと思います。ぼくたちも、住み続けたい町、住み続けたい町にできるように、ポイントなどを決めたり、地域の方にあいさつをしたりして、坂町をきれいで、明るい町にしていきたいです。

この体験を生かし、18歳になったら、選挙に参加し、社会の担い手になりたいです。

まちの声



が聞こえる

このコーナーは、議会クイズのはがきの意見・要望などの一部を掲載しています。

令和4年9月定例会から

追跡 ありゃあ、どおなったん？

議員
県道坂小屋浦線の高架橋の完成時期は。

町長
現在、平成ヶ浜側の高架橋下部工事に着手しており、森浜地区側の下部工事も順次発注していく予定と県から伺っている。



森浜地区側の丸子児童遊園地内の工事は、令和5年8月に橋脚2基を発注し、令和6年7月に完成した。
現在、平成ヶ浜地区の高架橋下部工事は橋台のU型擁壁と国道側の橋脚の工事を施工している。
また、令和6年度には広島県とJRが高架橋上部工事に係る協定を締結され、令和7年度からJR呉線と国道31号を跨ぐ



一般県道坂小屋浦線 完成予想図

発注者 広島県 西部建設事務所 施工者 熊野・横山 坂小屋浦線共同企業体

上部工事に着手する計画であり、広島県では令和10年代前半の完成を目標に取り組んでいると伺っている。

【建設課】

議員
特産品の町内外業者への開発委託の進捗状況は。

町長
現在、町内洋菓子店と呉市の和菓子店と研究開発を進めている。



令和6年5月に、「坂うめじろうまんじゅう」を開発した。
町内の商店やスーパー・公共施設などで販売し好評をいただいている。

【企画財政課】

議員
高齢者ポイント制は近隣の市町は順次導入しているが当町は。

町長
高齢者施策は、ニーズ調査により各種施策を計画的に実施している。
ポイント制を利用できる人だけのことを考えるのではなく、全体的に考えていく必要がある。



令和5年度に実施したニーズ調査では、ポイント制度の要望は少なく、また、実施には多くの財源が必要となり、介護保険料への影響も大きいことから、慎重に検討する必要があると考える。

【保険健康課】

マナーを守ろう！

野焼きや焼却炉でゴミを焼いている方がいるので、洗濯物に煙の臭いがつくので、外に干せない。気をつけていただくように呼びかけて欲しい。

飼い主のマナーを

きりり坂なぎさ公園近くの海沿いによく散歩に行くのですが、犬のフンが目について、さわやかな気分が一気に台無しになってしまいます。

地域活動に参加を

坂町では小学生の地域清掃活動等への参加は積極的。中学生となると参加が低調なので学校での参加指導を願う。

定住対策を

若い人たちが定住できるように町にしてください。

耐震化工事の補助は

坂町は耐震強化工事の補助をしているようですが、一般的な一軒家の耐震強化工事はどのくらいかかりますか？

野焼きは近隣の皆さんの迷惑になるほか、火災を引き起こす原因にもなりますので、広報紙や防災行政無線による注意喚起を図ってまいります。

【環境防災課】

飼い犬のフンを片付けることは、飼い主にとって最低限のマナーです。広報紙や防災行政無線により啓発してまいります。

【環境防災課】

学校では、地域への感謝の気持ちを込め、何か少しでも自分ができることを見つけて行うよう指導していますが、平日は夕方まで、土日についても部活動があり、大会参加などにより、日程が

保育園や小中学校などの給食費の助成や高校3年生までの子ども医療費の助成など、引き続き、子育て世代の支援に取り組んでいきます。

また、被災で大きな被害を受けた小屋浦地区の賑わいを創出するため、小屋浦一丁目地区に商業施設や公営住宅などを整備して、若い世代に住んでいただけるよう再開発に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

【企画財政課】



マナーを守りましょう



子ども達の参加協力を

住宅の耐震化促進事業に関心を持って頂きありがとうございます。
現在、坂町が創設している木造耐震化促進支援の補助金制度につきましては、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で、耐震診断をした結果、耐震基準に満たないものなど、いくつかの要件を満たすものが、補助金の適用となります。
また、耐震工事の費用につきましては、規模や工法などにより金額が異なりますので、まずは、お気軽に役場3階の都市計画課(820-11513)にお問い合わせください。
なお、耐震診断につきましても補助制度がございます。

【都市計画課】



平成30年7月豪雨災害
復旧砂防えん堤完成記念



小屋浦小学校各学年ごとの絵

第110回 議会クイズ



《クイズ》

空欄に適切なことばを入れてください。

① 地方創生2.0と〇〇は

② 産官学金労言で〇〇し

③ 猛暑による〇〇対策を

④ ミライロ〇〇導入による障害者支援

⑤ 〇〇〇〇者への支援の充実を

《ヒント》

一般質問の中にあります。よく読んでください。

《注意》

郵便料金が改定され、ハガキは85円となっております。ご注意ください。

《応募方法》

はがきに「こたえ・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・意見なども書いてください。

「まちの声」で、できるだけ紹介させていただきます。

正解者多数の場合は抽選で10人の方に図書カードをお送りいたします。

※ホームページ・携帯電話(携帯サイト)からも応募できます。

《あて先》

〒731-4393

坂町役場内議会事務局宛

《しめきり》

4月末日 消印有効



QRコード読み取り機能のついた携帯電話で議会クイズの申し込みができます。

《第110回 正解》

- ① 支援環境
- ② 門戸
- ③ 要支援者
- ④ 定住
- ⑤ 雨水排水

第110回クイズ当選者

ご応募ありがとうございました。

正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選されました。

- 中島 早哉香
- 池上 加奈子
- 小泉 直子
- 渡子 二郎
- 森脇 愛
- 北島 洋子
- 坪本 修
- 山下 一徳
- 藤原 麗子
- 森脇 克樹

【順不同・敬称略】

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および「まちの声」の目的以外には利用いたしません。

あしがき



今年の冬は極寒の長い冬が続きました。春が短くすぐ暑い夏が到来しそうです。

私の広報委員長二年間の任期が終わりました。今年度は、坂町議会だよりが広島県町議会議長会において特選に選ばれ、広報委員会メンバーの努力に感謝いたします。

この受賞を機に町民の皆様に一層読みやすく親しまれる広報紙になるよう努力してまいりますので、引き続きご愛読よろしく申し上げます。

【安竹 正】



「議会だより さか」は 坂町議会 検索 でもご覧になれます



発行/〒731-4393 広島県坂町議会 (TEL: 082-820-1514) (FAX: 082-820-1530)
編集/議会広報調査特別委員会 E-mail/gikai@town.saka.lg.jp 印刷/株式会社ヤマワキ